

角 南 篤 教授

役 職：副学長・SciREX センター・プログラムマネージャー

専門分野：科学・産業技術政策論、公共政策論

学 位：Ph.D. (コロンビア大学)

略 歴：1988年ジョージタウン大学 School of Foreign Service 卒業、1989年株式会社野村総合研究所政策研究部研究員、1992年コロンビア大学国際関係・行政大学院 Reader、1993年同大学国際関係学修士、1997年英サセックス大学科学政策研究所 (SPRU) TAGS フェロー、2001年コロンビア大学政治学博士号 (Ph.D.) 取得。2001年から2003年まで独立行政法人経済産業研究所フェロー。2003年政策研究大学院大学助教授、2014年教授、学長補佐、2015年11月より内閣府参与 (科学技術・イノベーション政策担当)、2016年4月より副学長に就任 (現在に至る)。

1. 業 績 (A)

(1) 図 書 (編 著)

- * 國分俊史、福田峰之、角南篤 (編) 『世界市場で勝つルールメイキング戦略—技術で勝る日本企業がなぜ負けるのか—』全256頁 (朝日新聞出版、2016年11月)

2. 業 績 (B)

(1) 書評・解説等

- * 「論説委員の視点 保健医療分野の科学技術外交を」『国際開発ジャーナル』No.713、2016年4月、国際開発ジャーナル社
- * 「論説委員の視点 SDGs と TICAD : 日本の科学技術外交の次なる展開」『国際開発ジャーナル』No.717、2016年8月、国際開発ジャーナル社
- * 「米中が開発競う『デュアルユース』技術」『外交』Vol.40 Nov.2016、『外交』編集委員会、外務省

3. 助成金等による研究

- * 平成28年度文部科学省科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」基盤的研究・人材育成拠点整備事業 SciREX センター プログラムマネージャー
- * 独立行政法人科学技術振興機構 研究成果展開事業 センター・オブ・イノベーション (COI) プログラム「COIプログラムの社会実装に向けて障壁となる規制・制度等についての調査分析」(受託研究) 研究代表者
- * 独立行政法人科学技術振興機構「将来を展望した社会的問題とその解決のための科学技術政策の同定」(受託研究) 研究代表者
- * 政策研究院科学技術プロジェクト 研究代表者

4. 教 育

(1) 講 義

- * 科学技術政策過程論/Analysis of Science and Technology Policy Process (春後期)

(2) 演習

- * リサーチセミナーⅣ

(3) 論文指導

- * 戦略研究プログラム：修士課程 3 名（副指導）
- * 政策プロフェッショナルプログラム：博士課程 1 名（主指導）
- * 公共政策プログラム：博士課程 3 名（主指導）
- * 科学技術イノベーション政策プログラム：博士課程 5 名（主指導 2 名：うち 1 名学位取得、副指導 3 名）

5. 管理・運営への関与

(1) 委員会

- * 役員会
- * 研究教育評議会
- * 企画懇談会
- * 経営協議会
- * 教員人事委員会
- * 学長選考会議
- * プログラム改革推進本部
- * GRIPS フォーラム運営委員会
- * GRIPS 基金運営委員会
- * 20 周年記念事業実行委員会
- * 科学技術政策研究会議
- * リーディングプログラム運営委員会
- * リーディングプログラム・ワーキンググループ
- * 科学技術イノベーション政策プログラム（修士課程・博士課程）・コミティー
- * 戦略研究プログラム（SSP）・コミティー
- * GRIPS Global Governance Program (G-cube) Committee
- * GRIPS International Advisory Committee (3/6-7)

(2) タスクフォース

- * GIST/SciREX センター中期目標・計画検討タスクフォース
- * IAC タスクフォース（民間交流促進関係）

(3) その他

- * SciREX センター運営会議
- * アジアステーツマン交流事業：14th Asian Statesmen's Forum, Jakarta, Indonesia (8/27-28)
- * GRIPS フォーラム (5/23, 12/12)
- * GIST セミナー
 - “Deepening the Japan-India Partnership: Economics, Energy, Security, and Global Governance” (第 75 回 5/18)
 - “Overcoming Barriers to Technological Innovation in Established Economic Sectors” (第 78 回 7/27)
 - 「企業国家の二つの顔：イスラエルにおける規制と資本主義のパラドクス」(第 80 回

9/29)

- * SciREX センター主催セミナー/シンポジウム/フォーラム
 - 「科学と女性研究者の活躍～グローバル・ヤング・アカデミーが考える次世代の女性研究者とは～」(5/16)
 - 「科学技術外交シンポジウムー科学技術を通じた日本外交の新たな方向ー」(5/24)
 - 「米国におけるイノベーションシステムの課題と最近の取組み/Challenges and Current Efforts of Innovation System in the U.S.」(5/25)
 - 「日韓国際シンポジウム～国家のイノベーションと東アジアの持続的発展～」(6/3)
 - The 7th EU-Japan Science Policy Forum (10/1)
 - 「第1回科学技術イノベーション政策のための科学オープンフォーラム」(1/24-25)
- * 講演会「米国国防省における基礎研究への支援、大学等との連携について」(4/20)
- * 政策研究院外交アカデミー「コミュニケーション・スキル向上：ディスカッション演習(科学技術)」(9/13)
- * 自民党国際局共催 “Workshop on Empowerment of Women in Parliaments” (10/17)
- * セミナー「IoT ビジネスの落とし穴は、サイバーセキュリティの国際標準化にあり」(10/20)
- * 日中韓国際シンポジウム「3カ国からみるイノベーション政策の現状と展望」(11/22)
- * ラウンドテーブル “Contested Mega-regulation: The Trans-Pacific Partnership (TPP) Tokyo Workshop” (11/24-25)

6. 社会的貢献 (A)

(1) 国および地方公共団体における活動

① 審議会等

- * 内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 評価専門調査会 委員
- * 内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 評価専門調査会「大綱的指針の改定ワーキンググループ」 委員
- * 内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 評価専門調査会「アルマ計画」評価検討会 座長
- * 内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 推進専門調査会 専門委員
- * 内閣府 「国立研究開発法人によるイノベーションシステム構築に関する調査」における「特定国立研究開発法人の目標・評価の在り方に関する検討会」委員
- * 内閣府 科学技術イノベーションの基盤的な力に関するワーキンググループ 委員
- * 内閣府 本府 参与 (科学技術・イノベーション担当)
- * 文部科学省 ヤングリーダーズプログラム推進協議会
- * 文部科学省 科学技術・学術審議会 委員
- * 文部科学省 科学技術・学術審議会 国際戦略委員会 総合政策特別委員会 委員
- * 文部科学省 科学技術・学術審議会 戦略的基礎研究部会 委員
- * 文部科学省 宇宙探査検討会 委員
- * 文部科学省 スーパーグローバルハイスクール企画評価会議 委員
- * 文部科学省 日本ユネスコ国内委員会運営小委員会 調査員
- * 文部科学省 国立研究開発法人審議会 臨時委員

- * 文部科学省 「国立研究開発法人の理事長によるマネジメントに関する調査」に関する技術審査 委員
- * 総務省 情報通信審議会 専門委員
- * 外務省 科学技術外交推進会議 委員
- * 経済産業省 地域中核企業創出・支援事業に係るグローバルコーディネーター
- * 経済産業省 新たな基準認証の在り方に関する研究会 メンバー
- * 経済産業省 革新的エネルギー技術国際共同研究開発事業 事業者選定委員会 委員
- * 衆議院調査局 科学技術・イノベーション推進特別調査室 客員調査員
- * 山梨県 やまなし未来会議 委員

② その他

- * 国際協力機構 アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト（フェーズ3）国内支援委員会 委員
- * 国際協力機構 アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト（フェーズ3）産学連携促進諮問委員会 委員
- * 科学技術振興機構 研究成果展開事業「センター・オブ・イノベーション」構造化チーム 委員
- * 科学技術振興機構 国際科学技術共同推進事業（戦略的国際共同研究プログラム） アドバイザー
- * 科学技術振興機構 革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）アドバイザー
- * 科学技術振興機構 途上国におけるイノベーションを促進する国際協力の戦略的推進評価作業部会委員
- * 日本学術振興機構 大学の世界展開力強化事業プログラム委員会評価部会 専門委員

(2) 他大学・研究所等における活動

① 非常勤講師，研究員等

- * 北京大学現代日本研究センター 日本側主任教授
- * 国際連合大学 客員教授
- * 学校法人順正学園（吉備国際大学）理事、非常勤講師（2016年8月2-4日）
- * 多摩大学研究開発機構ルール形成戦略研究所 客員教授
- * 成城大学 特別講師「政策イノベーション特殊講義」（2016年12月15日）
- * 大阪大学 講義「科学技術と社会特論」（2016年12月21日）
- * 九州工業大学 非常勤講師 「開発プロジェクト特論」（2016年9月26日）
- * 名古屋大学 未来社会創造機構 招へい教員、イノベーション戦略室 客員教授
- * 東京理科大学双方向留学プログラム（昆明理工大学・受入）特別講義講師（2016年11月22日）
- * 陸上自衛隊幹部学校 講義（2016年5月23日、8月30日）

② 政策研究院 外交アカデミー委員会等

- * 科学技術振興機構 中国総合研究交流センター シニアフェロー
- * 岡山光量子科学研究所 評議委員会 評議員
- * 情報・システム研究機構 国立極地研究所 北極域研究推進プロジェクト（ArCS）評議会委員
- * 笹川平和財団海洋政策研究所 海洋環境事業運営委員会 委員長

③ その他

- * 宇宙航空研究開発機構 客員アドバイザー

(3) 企業、財団法人等における活動

- * 本田財団 業務執行理事
- * 創業支援推進機構 (ETT) 理事
- * 一般財団法人 日本宇宙フォーラム 顧問
- * 東京商工会議所 総合政策委員会 委員

(4) 学会等における活動

- * 宇宙ガバナンス研究会

7. 社会的貢献 (B)

(1) ジャーナリズムを通じた発言

① 印刷メディア (新聞, 雑誌等)

- * コメント: 「〈知る〉軍事・民生垣根越える技術 防衛省予算 反対の大学も」読売新聞 大阪 (2016年7月1日)
- * コメント: 「「日の丸」衛星背水の再挑戦」読売新聞 (2016年8月31日)
- * 編集協力: 「日本で育む祖国の夢」mundi (2016年10月号)
- * コメント: 「科学政策にもトランプ色?」朝日新聞 (2016年11月17日)

② 電波メディア (テレビ, ラジオ等)

- * コメント: 「中国宇宙飛行士2人が打ち上げ前に決意」NHK NEWS (2016年10月17日)
- * コメント: 「中国宇宙技術への評価」香港フェニックステレビ (2016年11月14日)
- * コメント: 「日中科学技術政策」新華社通信 (2017年3月1日)

(2) 講演会, 座談会, 会議出席

- * 講演: 日本防衛装備工業会講演会 (2016年6月15日)
- * パネル: JAXA シンポジウム 2016 (2016年7月28日)
- * 調査・講演: ジャワハルラル・ネルー大学の新規支援について (2016年8月12-18日)
- * パネル: 理化学研究所イノベーションデザインに関する懇談会 (2016年9月29日、2017年1月31日)
- * 講演: やまなし雇用拡大推進産学官円卓会議 (2016年11月8日)
- * 講演・パネル: アジア生産性機構 “Innovation Policies Reviews to Foster Productivity Growth and Japan Innovation Policies and Innovation Systems” (2016年11月16-18日)
- * 講演: 日中科学技術交流協会 (2016年12月13日)
- * 講演: 一般社団法人先端技術産業戦略推進機構 科学技術外交対話セミナー「科学技術グローバル外交の現状と課題について」(2016年12月17日)
- * 講演: 外務省 ホノルル日本商工会議所 “JAPAN’S “SOCIETY 5.0” AND ABENOMICS 2017” (2017年2月14日)
- * 講演: 外務省 ホノルル東西センター「技術進歩による日本経済発展への寄与」(2017年2月14日)
- * 講演・パネル: アジア生産性機構 “APO Multicountry Observation Study Mission for Mass Media Practitioners on Innovation and Productivity Promotion in SMEs” Lecture (2017年2月22日)

- * 講演：中国科学技術協会、科学技術振興機構「ICT 技術を活用した高齢化社会対応に関する日中会議」（2017年2月27-28日）
- * 講演・パネル：国立極地研究所 北極域研究プロジェクト公開講演会「北極研究と日本—我々はなぜ北極を研究するのか—」（2017年3月18日）